

学校だより 	 令和7年 10月号 10月1日発行	教育目標 やさしさ つよさ たくましさのある さくら小の子 大島町立さくら小学校 〒100-0102 大島町岡田字長坂 113 電話 04992-2-8021 ファクシミリ 04992-2-8853 E-mail 02T000@izu-oshima.ed.jp 大島町立さくら小学校 検索
--	---	--

20年の重みと、これからの希望を感じて

校長 野澤 啓幸

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、今年も秋分の日前後から、朝晩の涼しい風が心地よく感じられるようになってきました。三原山を歩くと、黒い大地に淡金色のハチジョウススキが背を伸ばしてきて、秋の景色に変わろうとしています。

今週4日(土)に、さくら小学校は第二中学校と小中合同運動会を行います。子供たちは、2学期に入り、(1学期から取り組んでいるものもありますが、)この運動会に向けた練習に取り組んでいます。先月8日(月)の結団式を期に、紅白それぞれへの所属を意識し、それぞれの立場で協力して運動会をよいものにしていこうという姿が見られています。上学年の応援団は、1年生にも分かるように応援の仕方を説明し、全体を盛り上げようとしています。リレーでは、6年生を中心に走順等作戦を練り、下学年リレーでは3年生が率先して行動することでチームをまとめようとする姿が見られます。これは、今年度だけのものではなく、これまでの20年間の伝統を引き継ぎ、先輩の動きを見ることで、具体的なイメージをもつことができていることが土台となっています。各学年の演技・競技の練習についても、友達と協力しながら自主的に取り組もうという気持ちが行動に表れていることが頼もしい子供たちです。

保護者の皆様の、日頃から児童の体調管理、子供たちの取組への励ましに感謝いたします。また、先日のグラウンド草刈りにはご多用な中、小中合わせて100名を超える(中学生、職員含む)多くの皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。当日も子供たちへの大きな拍手とご声援をお願いいたします。

そして、27日(月)には開校20周年を祝うロング集会を行います。現在、「こんな風にさくら小20周年を祝いたい」と、運営委員会を中心に計画の実現に向けて準備を進めています。子供たちの思いがあふれる出し物をご覧いただき、ゲストとして呼びする Emi さん(校歌を作詞作曲)と校歌を歌って、さくら小学校の未来への希望を共有できるような集会にしたいと思います。ぜひ、ご参加ください。

10月の生活目標「身のまわりの整理整頓をしよう」

10月 生活目標担当 伊藤 貴之

【その一歩の遅れが命取り】

「教科書の51ページを開きましょう。」「はさみとりのりを出しましょう。」日常の授業の中でよく聞かれる言葉です。ここで机の中が整理できている児童は、数秒でその指示に従えます。しかし、整理できていない児童はいつまでたっても準備が終わりません。ものを探している最中にも時には先生の次の指示や発問が発せられています。次の指示が聞き取れていないということは、授業の内容が分からないまま進んでいってしまっているということです。だからこそ、「整理」しておくことが大切だと思っています。つまり「整理」は「準備」です。準備の大切さは言わずもがなです。では、「整頓」とは。私は「整頓」を周りの環境を整えることと捉えています。教室後方にある教科書などを収納するボックス、専科の道具の入ったバッグ掛け、下駄箱の靴。「自分の場所だから」ではなく、みんなで使う場所、みんなが見る場所。見た目を美しくすることの意識はとても大切です。「整理」は自分のため、「整頓」は自分も含めたみんなのため。

読書月間の取り組み

図書担当 山本 京

日ごとに秋の気配が深まってまいりました。学校では、6月・10月・2月を「読書月間」と定めています。10月は「読書の秋」です。子供たちには、さらに本の世界に親しんでほしいと思います。今月の読書月間の主な取り組みについて紹介させていただきます。

【図書委員によるおすすめ本の紹介】

図書委員が選んだ、とっておきのおすすめ本を図書館内に掲示します。
新しい本との出会いのきっかけになればうれしいです。

【ブックパパ・ママさんによる読み聞かせ】

朝の時間に、地域ボランティアの「ブックパパ・ママ」さんが、心を込めて読み聞かせをしてくださいます。6月にも読み聞かせをしていただいたところ、物語の世界にじっくり浸る、貴重な時間となりました。

その他に、毎日10分間の朝読書の時間を確保しています。

読書は、子どもたちの心を豊かにし、知識を広げる素晴らしい力を持っています。
この機会に、ご家庭でもぜひ、お子さんと一緒に読書を楽しんでみてください。
本の世界が、子供たちの心をさらに大きく育ててくれることを願っています。



世界を感じる～世界陸上リアル体験教室～

6年担当 小池 良太郎

9月13日(土)より、東京では34年ぶりとなる「世界陸上」が開催されました。棒高跳びでの世界新記録達成や、競歩日本代表選手のメダル獲得、4×100mリレーの決勝進出など多くの選手の活躍が見られ、胸が熱くなる9日間でした。

そんな世界陸上真っ只中の9月16日、6年生は国立競技場にて「世界陸上リアル体験教室」に参加してきました。元日本代表の選手から走り方、跳び方のポイントを教わった後、国立競技場のトラックを使っての1000分の1マラソン(42.195m)の測定を行いました。室内トラックでのポイント練習では、普段は動かさない筋肉を使うことができたようで、翌日は筋肉痛の児童が多数いたようです。計測の際には、実際に使われているタイマーも用いられ、「本物」の雰囲気味わうことができたようです。

また会場のスタッフの人数もかなり多く、大会運営の大変さを実感する機会ともなりました。出場選手だけでなく、会場を整える人、警備を行う人など多くの人によって世界陸上が無事に運営されたことも、新たな学びになったこととでしょう。今回学んだポイントや感じた国立競技場の空気感を忘れず、運動会や町レク、そして今後の人生へと少しでもつなげていって欲しいと思います。



***行事予定はホームページで公開しています→**

(事務室前に、行事予定を印刷したものを用意しています。必要な方は、ご自由にお取りください。)

